



平成31年1月23日  
大阪税関

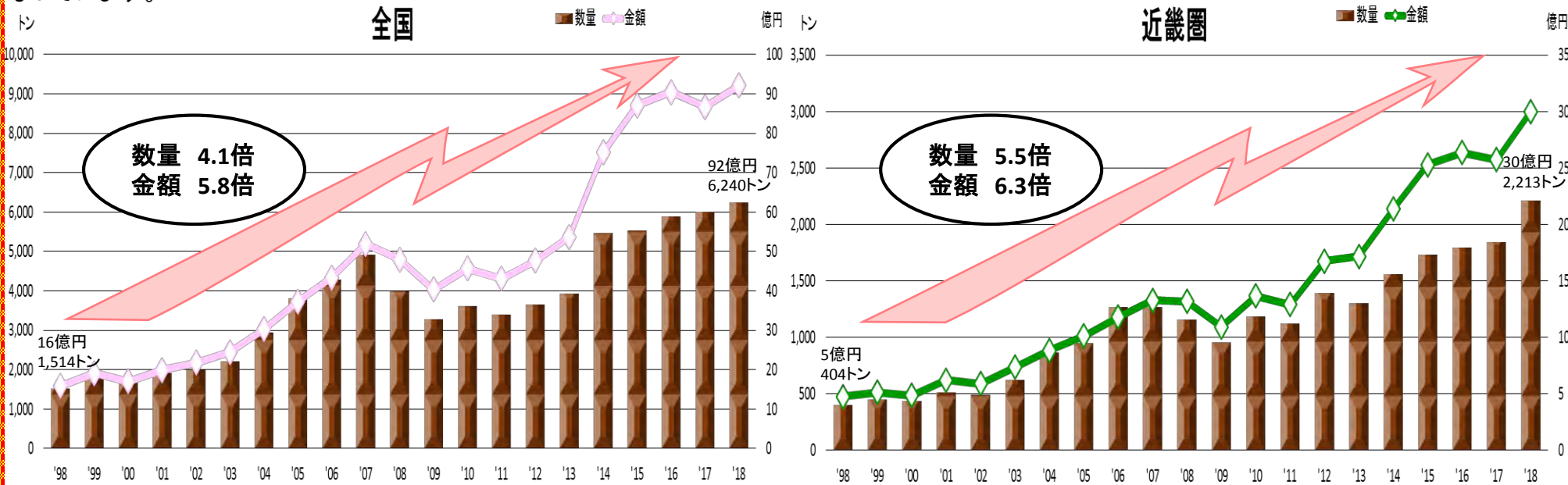


- 2018年全国、近畿圏のチョコレートの輸出は数量・金額ともに**過去最高**！
- 近畿圏の金額は**経済圏別第1位**！
- アメリカ、フィリピンへの輸出が数量・金額ともに**過去最高**！
- 輸出相手国は全国で1998年20か国から**2018年41か国へ増加**！

日本では板チョコのほか、クッキー入りチョコレートのようにプラスαの工夫がされた商品が多く作られています。インバウンド需要で海外でも人気が高まっており、そんな日本産チョコレートの輸出について特集しました。

### 【数量・金額推移】

2018年全国のチョコレートの輸出は数量6,240トン（前年比103.9%）、金額92億円（同106.2%）となり、数量・金額ともに**過去最高**を記録しました。近畿圏については数量2,213トン（同120.1%）、金額30億円（同116.7%）となり、同じく数量・金額で**過去最高**、また金額では**経済圏別第1位**となっています。

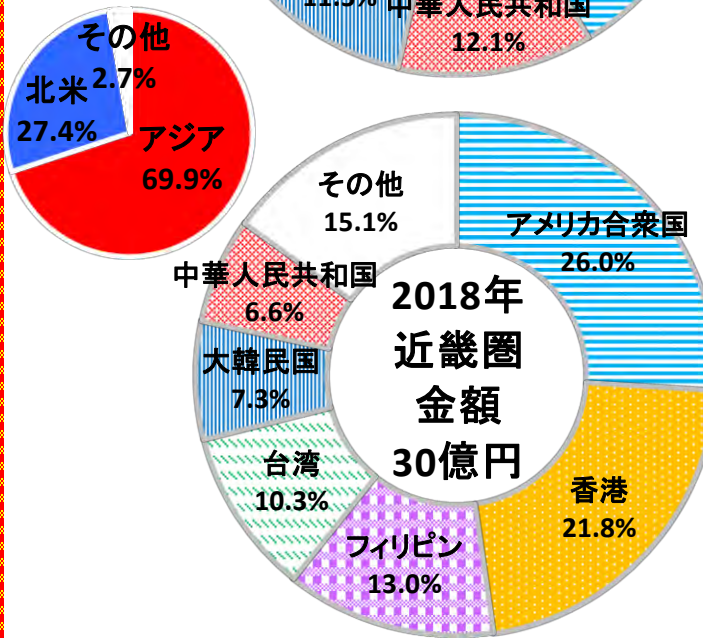
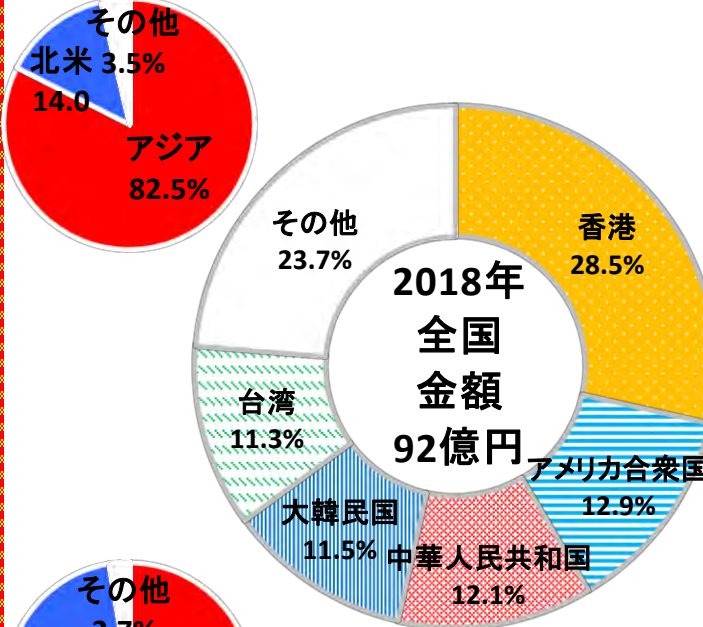


# 【国別 金額】

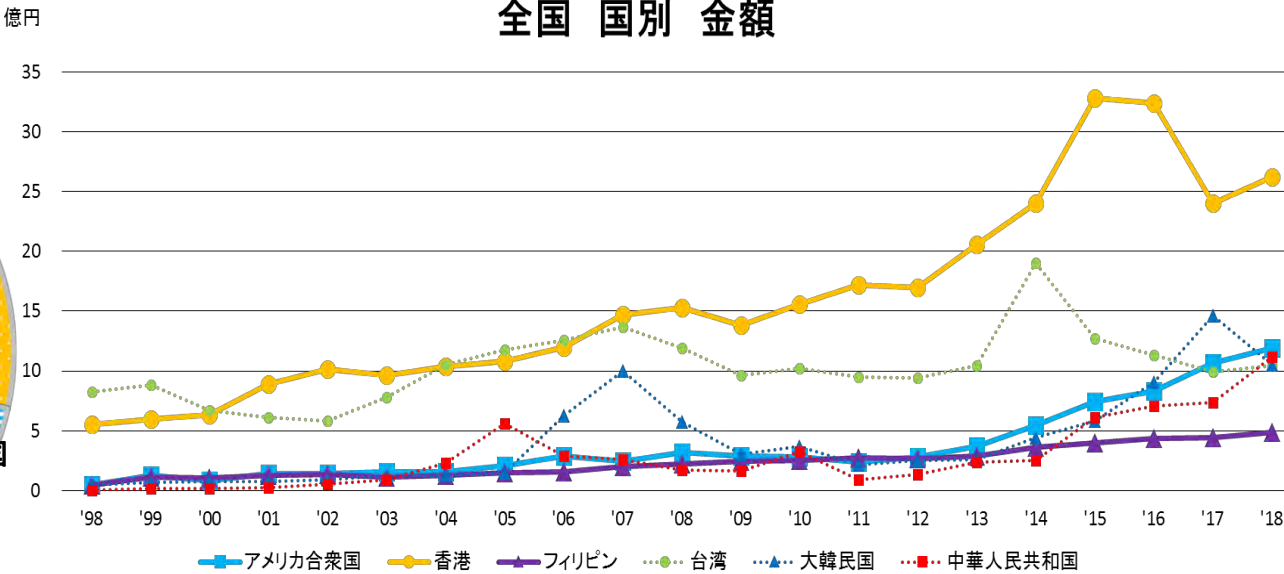
全国の国別金額は2018年1位香港26億円(同109.2%)、2位アメリカ12億円(同111.9%)、3位中国11億円(同151.7%)となりました。中国は金額で過去最高となり、7年連続のプラスとなっています。全国、近畿圏ともにアジアへの輸出が約7~8割を占めています。

近畿圏では2018年にアメリカ8億円(同139.0%)が香港7億円(同108.4%)を抑えて1位となりました。3位はフィリピン4億円(同109.1%)です。アメリカ、フィリピンへの輸出は全国、近畿圏ともに**過去最高**となり、近畿圏における2か国への輸出の全国シェアは6割を超えています。

業界によると、輸出相手国の法規制によって輸出できる商品は異なり、アメリカやフィリピンに合った商品が近畿圏で生産されているとのこと。



## 全国 国別 金額



## 近畿圏 国別 金額

